

## クラブアドバイザーも資質・技術の向上を目指しています！

クラブを運営されているみなさまに寄り添って活動をしているクラブアドバイザー。そのクラブアドバイザーは、一堂に会して資質・技術向上のための研修を毎年受けています。その研修の様子をご紹介します！

### クラブアドバイザーとは？

クラブアドバイザーは、総合型クラブが地域スポーツの担い手として重要な役割を果たしていけるよう、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすることを目的に活動しています。

日本体育協会では、平成29年度は33都道府県体育(スポーツ)協会に33名のクラブアドバイザーを配置しています。

### クラブアドバイザーミーティングとは？

日本体育協会が配置しているクラブアドバイザー等を対象に、その資質と技能の向上を図ることを目的に実施しています。

平成29年度は、平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」をメインテーマとして、5月25日(木)・26日(金)の日程で行われました。

## 1日目 5/25(木)

### ▼講演兼アイスブレイク▼

「相手の課題を的確に捉え、解決策を考えるためのスキル」

講師：島根宏幸氏（アソビュー株式会社）

クラブアドバイザーは、クラブ訪問等を通じて、クラブの課題を見出し、的確なアドバイスを与えることが求められるため、「的確に課題を抽出する質問力」と「課題を見つける力」にスポットを当て、グロービス・マネジメント・スクールにて「クリティカル・シンキング」講座等の講師としてご活躍されている島根氏に昨年度に引き続きご講演いただきました。

また、この時間の中では、参加者間のアイスブレイクも兼ねて、問題を見つけ、問題箇所を特定し、原因を考え、解決策を考えるグループワーク等も行いました。

### 講演内容（一部）

問題が何かを考え、解決策を立案するためには、以下のステップを様々な順番で行うことが重要。

- ①状況、前提を踏まえて、問題は何かを定める(問題の明確化)
- ②問題の分解を行い、問題箇所を特定する
- ③「なぜ」を5回繰り返し、原因の本質をつかむ(原因の追究)
- ④オプションを広げ、判断軸を持って、「どうすればよいか」を選択する（解決策の立案）



## 2日目 5/26(金)

### ▼説明▼

「第2期スポーツ基本計画について」

説明者:野原 聡氏（スポーツ庁健康スポーツ課 連携推進係長）

スポーツ庁の野原係長から、平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」の概要について説明いただきました。

### 講演内容（一部）

第2期スポーツ基本計画には、4つの指針がある。

- ①国民がスポーツで「人生」が変わる！
- ②国民がスポーツで「社会」を変える！
- ③国民がスポーツで「世界」とつながる！



- ①～③によって、「未来」を創る！



第2期スポーツ基本計画には、「総合型クラブの質的充実」の項目が設けられ、総合型クラブは量的拡大から質的な充実により重点を移して施策を推進することが施策目標として提示されている。

第2期スポーツ基本計画 詳細はこちら（スポーツ庁ホームページ）

[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop01/list/detail/1383656.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/1383656.htm)

## ▼グループワーク▼

### 「第2期スポーツ基本計画について」

スポーツ庁 野原氏の説明を踏まえて、以下の2つのテーマによりグループワークを行いました。

テーマ①: 中間支援組織に求める総合型クラブに対する支援の内容

テーマ②: 総合型クラブと名乗るために最低限満たすべき要件

### グループワーク内容（一部）

テーマ① 中間支援組織が担うべき支援の具体例としては、「行政との連携促進を図るための支援」や「労務士・弁護士といった専門知識の相談対応支援」といった様々支援案が提示され、参加者内で共有することができました。

テーマ② 総合型クラブを名乗るために満たすべき要件としては、「公益性」という単語が多く聞かれました。



今回参加者からいただいた意見については、本会内での登録制度検討にあたっての参考としていくほか、スポーツ庁へ情報提供する予定です。